

コメディリリック第6回「ラブラブチャレンジャー」

「行きつけのお店」

登場人物

高柳

ペイリー・チャイルド

理美

テオ・ポー

中さん

畑中タメ

※理美、中さん、板付き

「M・雰囲気の良い音楽—C—」

「L・明転」

イスに座り、飲んだくれていた様子の中さん

理美 「はーなんで、こんなうまいかないんだろーな」

「仕事、大変なのかい？」

中さん 「仕事は相変わらず、変わらず過ぎて飽きちゃうくらい」

「変わらないってことは理美ちゃんが頑張ってる証拠だろ？」

中さん 「そう言ってくれるのなんか、中さんだけだよ」

理美 「ははは。僕だって若い頃はそんな褒められたりしなかった。年取ってからさ、人が褒めてくれるのは」

「ありがとう。はー癒される。本当にここが私のオアシス。この店が無かつたら終わりだよ」

中さん

理美

中さん

「あらっしやいませ」

「こちらいいですか？」

「え、好きにしてください。イートインコーナーなんで」

「マスター」

「店長です」

「この店のおすすめは？」

「只今、おでんが10円引きセールやっていますけど」

中さん 「そう言ってくれるのは嬉しいんだけど…」

「ここ、コンビニのイートインコーナーだよ？」

「SEE・コンビニ入店音」

中さん 「いらっしやいませ」

理美 「中さん、今日のおすすめは？」

中さん 「おススメって…肉まんとかでいい？」

理美 「ねー中さん、私のくだらない恋バナ聞いてくれる？」

「ちよっとだけだよ？レジしなきゃいけないし」

中さん

※高柳、登場

「高柳、登場」

中さん 「いらっしやいませ」

高柳 「こちらいいですか？」

中さん 「え、好きにしてください。イートインコーナーなんで」

「マスター」

高柳 「店長です」

中さん 「この店のおすすめは？」

高柳 「只今、おでんが10円引きセールやっていますけど」

中さん

「M・FO」

高柳

「それで」

田中

「自分で入れてもらえますか？」

理美

「ここね、デザートも美味しいんですよ」

高柳

「じゃあ、食後にコーヒート」

田中

「好きにしてください」

理美

「ねー中さんー」

田中

「なに？」

理美

「結婚してる人を好きになっちゃうって、私やっぱり最低なのかな？」

田中

「どうだろ…女性誌か何か持ってこようか？」

理美

「やっぱり最低ってことだよね」

田中

「いやいやそういうわけじゃ…好きになるって選べないからさ、しょうがないんじゃない？」

理美

「そうなのかなー？」

田中

「うん。ただ、結婚してるってことは相手に家族がいるってことだ。それまでの彼の人生を尊重しなきゃいけないね。そのうえで、気持ちを伝えたり、区切りをつけたり、すればいい」

「SEE・コンビニ」入店音」

田中

「いらつしやいませー」

理美

「ありがとう。少し気持ちスッキリした」

田中

「ならよかったよ」

理美

「はー今日は飲んじゃおうかな」

田中

「飲み過ぎないようにね」

理美

「この店が閉まるまで飲んじゃおー」

田中

「ダメダメ。死んじゃうから」

高柳

「バーテンダー」

田中

「この店にバーテンダーはいません」

高柳

「彼女におすすめのカクテルを一つ」

理美

「え」

高柳

「勿論、僕のおごりでね」

理美

「嬉しい。ありがとうございます」

田中

「えっと…ほろよい、とかでいい？」

高柳

「失恋したんですか？」

理美

「失恋までもいってない、結婚してる人を勝手に好きになって、諦めようとしてるだけです。お見合いでもして結婚しようかなーいい歳だし」

高柳

「僕は前の奥さんを友人に奪われて家庭をめちゃくちゃにされたことがあります」

理美

「そうなんですか？」

田中 「ここ、イトインコーナーって分かってます？」

高柳 「家族って言葉を見ると…」

田中 「ファミリーマーケットでごめんなさい」

高柳 「何が不満なのか分からなかった」

〔M・雰囲気の良い音楽—C—〕

高柳 「だけど、そこから僕は考えた、彼女と僕の生活に愛はあったのか」

〔SE・コンビニ入店音〕

田中 「いらっしやいませ！…何か、良い時に…ごめんね」

〔SE・コンビニ入店音〕※複数回ランダムに入れる

高柳 「結婚という形で手に入ったことをきっかけにどんどん彼女のことを考えなくなってしまう。幽閉していたんだよ。知らず知らずのうちに。娘がいてね。今でもたまに会うんだ、僕から解放された彼女はどんどん綺麗になっていくよ。だから、君も何にも捕らわれずに愛に生きるべきだと思うよ」

泣き出す理美

※高柳、はける

〔M・FO〕

田中 「大丈夫？」

理美 「ごめんなさい」

田中 「僕も理美ちゃんの味方だから。僕にできることなら何でもするから」

理美 「…700円クジの一等頂戴」

田中 「それはダメだよ」

※高柳、登場

高柳、おでんを持って

田中 「ちよつとちゃんと払ってくださいよ」

高柳 「カードで (suica を出す)」

田中 「あ、スイカね。Tポイントカードはお持ちですか？」

高柳 「(カードをすつと出す) Tポイント、全て彼女に」

田中 「できません」

---

理美

「はーメイク崩れちゃった。中さん、お手洗い借りるね」

田中

「トイレは貸してないんですー」

【L・暗転】

ー了ー